

「東京青山68」第15回「ウォーキングの会」 ～新緑の5月、横浜「三溪園」を中心に山手地区を歩きました～

新緑の5月、横浜本牧の国指定名勝「三溪園」を中心に横浜山手地区の本牧山頂公園の散策、山手西洋館群散策、打上げに「港の見える丘公園」高台のホテル「KKRポートヒル横浜」から横浜ベイブリッジを眺めながら同期仲間と語り合うひと時を楽しみたく幹事は企画しました。

当初予定していた開催日の平成26年5月15日(木)は生憎天候不良のため、5月16日(金)に変更しました。当日は絶好の快晴日となり、最高気温26℃となりましたが湿度が低く爽やかな風が頬を撫で、参加の皆さんがなんと青春時代の修学旅行よろしく元気な足取りでワイワイガヤガヤ歩いていきました。特に感じましたのは女性陣4人(江上、折居、真壁、下田各お嬢様)の元気の良さです。男性陣の某氏曰く・・・「平均寿命の差がやっぱり出るね」と。

午前10時JR根岸線山手駅にてウォーキングメンバー総員15名集合して、横浜国大付属小一YC&AC通り一本牧山頂公園へと辿る。この公園は森林浴、ジョギング、ウォーキングにはまたとない絶好の散策路で約2kmの散策路は途中行き交う人もなく私たちの貸切でした。本牧荒井の丘ーどんぐりの丘ーまきばの丘とゆっくりのんびりと談笑し、見晴らしの丘を登り360度の展望で横浜の街を望む。そしてレストハウス(休憩所)で一服して本牧神社へと向かう。ここで参拝と善男善女のスナップ写真撮影(本日一回目)をする。本牧公園の周りの高級住宅街と公園の緑の調和を楽しみながら昼食処「どん亭」にて全員「すき焼き定食」を食す。値段の割に美味、ボリュームもよしとの声多く幹事安心する。この段階でビール等注文するものなし。・・・これからの歩きと楽しみは後でとの思いか。昼食後、本日のウォーキングの本命横浜「三溪園」に午後1時予定通り到着。正面入り口に熟年のボランティア・ガイドさん2名の歓迎を受け、2組に分かれてガイドを受ける。「三溪園」は横浜観光の3本の指に入る名勝です。明治末から大正時代にかけて製糸・生糸貿易で財を成した横浜の実業家 原三溪(本名富太郎)が東京湾に面した”三之谷”と呼ばれる谷あいの地に造り上げた53,000坪の日本庭園です。外苑と内苑の2つの庭園からなりますが今回は内苑を中心に廻りました。ここでも感じたのですが、ガイドさんに発するわが同期生の鋭く、的確で、博識に満ちた質問の多さです。ガイドさんもさすがに名門高校の同窓生と感心しておりました。私は思いました、「高校時代にもっともっと今のようにしていたらちょっとは違ったのではと……余計なお世話か」と。

ガイドは午後2時半に終わり、その後全員で地元村山隆男代表幹事を自前のガイドに突如任命し、関東地方にある木造の塔では最古の旧燈明寺三重塔など建築の解説や余談、怪談、雑談等をたのしみました。三溪の足跡はもう一つ日本の芸術家(横山大観、下村観山などスポンサーでもあり自らも一流の日本画家)や文学者、茶の湯など近代日本文化の一端を育んだ場所でもあります。ここで全員集合の記念写真を撮りました。

(本日2回目)皆さん最高の笑顔です。

午後3時15分三溪園を後にし本牧通り一山手警察一本郷町一妙香寺一へと向かう。途中妙香寺にて休憩を取るとともに僧職より「国歌：君が代、日本の吹奏楽発祥の地」の説明を広い本堂で受ける。..感謝合掌

午後4時30分ここを出て。汐汲坂一フェリス高・大一エリスマン邸一外人墓地を経て午後5時5分、KKRに辿り着く。今日ここまで12~13kmは歩いていると思います。それは以下のメンバーの声が語っております。

・「途中休憩して、アイスクリームとかお茶とかしてよ」(某女史)

・「日陰を歩いてよ、美貌をどうしてくれるの」(某女史)

・「こんなに歩いたのは今回が初めてだ。坂が多いから尚更そう感じるんだね」(某紳士)

等推して知るべし。(これで当分幹事の役は、廻ってこないぞ...大成功!!不謹慎だと自戒反省)まあまあ苦情の多いこと、だけど皆さん不思議に心から怒ってはいないのです。疲れの中でも笑顔で文句を言っているのです。(ただし家へ帰ってどうなるかは、幹事の知るところではない。)予定より早くKKRポートヒル横浜3F宴会場「ル・シエル」で打上げ懇親会開始。渡邊公夫幹事挨拶、江上雅子女史乾杯音頭で洋食コースで飲み放題の世界に入る。懇親会には渡辺泰彦さん、木伏靖幸さんが新たに加わる。兩人とも足の怪我でウォーキングは不参加(怪我の原因は深一い話になりますが)

素晴らしい横浜ベイブリッジの夜景と貸切の宴会場で一息入れたところで、泰彦さんから3年C組のというより、新潟高校同期の生んだ天才「石山巖さん」死亡とその経緯・今後の処置など同期へのお願いと要請の説明が淡々と且つ沈痛に行われる。(全員合掌)午後7時半終了。その後の記憶は一切なし。(泰彦さん、吉岡さん、斉藤健弥さんといったことは記憶にあります。なぜか無事自宅で寝ておりました...翌日の女房の苦情は日常茶飯のことです)終わってみてこの会はほんとに良いものだとしみじみ感じており

ます。お互いの健康、いたわり、慰めあい、叱咤激励、等々。

ここでしかない財産をこれからも出来るだけ長く、大勢の人と築き上げていきたいと念じております。



今回のウォーキング・懇親会の参加者は次の通りです。(敬称略)

阿部紀一、阿部尚武、江上雅子、折居迪子、木伏靖幸、久保田幸郎、小林勲、斉藤健弥、下田桂子、中村輝夫、真壁泰子、村山隆男、吉岡利明、若井省吾、渡邊公夫、渡辺泰彦、高山 勝 の以上17名です。

(今回幹事 高山 勝)